



歯科診療室だより

公立みつぎ総合病院

24号

令和3年3月8日

サンタクロース

コロナ禍で日常生活が一変した昨年12月クリスマスの日某施設にサンタクロースが大きな袋の中に“口腔ケア”というプレゼントを持って訪問しました。最初はサンタクロースという事を認識してもらえませんでした。しばらくすると一緒に写真を撮ってもらえました。家族の面会もままならない中、入所者の方々の笑顔はとても心とませられる思いでした。きっと、来年こそは明るくて良い年になるように、そして入所者の方々の笑顔あふれるようにと思う訪問診療でした。



ところが、年を明けて1月 “今年もサンタクロースが来るよ・・・” と入所者さん。今年もサンタクロースは決定だ～～！！

口腔機能低下症～その6～

口の機能を調べるのに“パ」「タ」「カ」と言ったことはありますか？なんのために言っているのか？何を調べるのに言っているのか気になりませんか？



これは、オーラルディアドコキネシスといって、ベロやくちびる、のどの奥などの運動の速度や巧緻性（巧みさ）を「パ」「タ」「カ」と発声することで評価するものです。

「パ」「タ」「カ」という決まった音をなるべく早く、10秒間繰り返し発音し、その数やリズムの良さを評価します。左の写真がそれを調べるために使う機器です。マイクに向

かって発声してもらおうとその回数が表示されます。1秒間に6回未満だと口の機能が低下していることになります。

パ：くちびるを閉じたり開けたりする能力を評価します

タ：ベロの前の部分を挙げる能力を評価します

カ：ベロの奥の部分を挙げる能力を評価します

検査を希望する方は、お気軽に**歯科スタッフ**までお尋ねください！

文責 診療部長 占部秀徳